

●11月6日（土）竹蛇籠 36本完成できる

京都大学の竹門康弘先生を中心とした2021年度の木津川での土砂流動などの調査研究は中聖牛4基を木津川20km地点で設置されるにあたって、それに使用する中聖牛（高さ4m 大きさ7m幅4m）とそれに重石として使う竹蛇籠（長さ4m太さ45cm重さ10tの石材を詰め込む）の竹蛇籠36本が必要なので、里山の会が9月12日から毎週土・日、10月31日まで竹蛇籠製作講習会を開催してきました。底部の部分の編み始めと頭部の部分の始末が特に難しいので、底部の製作を72本作り上げて、それを二つドッキングさせて完成させる手法で取り組んで5年目になりました。11月6日は最後の仕上げ作業のドッキングを行いました。初めの予想では大きなものだから二日間を予定していましたが、この日の参加者は播川 森島 太田 有田 大釜 大村の超ベテランの集合で見事に午前中に仕上げていただきました。これであとは2月26日27日に予定している設置日を待つのみとなり、里山の会の実行力が見事に発揮されました。

●11月23日 カヌー体験実施 参加者募集始まる 15組

8月に開催し、京都府子どもの水辺の一環事業として予定していましたがコロナのために延期また中止しとされてきたカヌー体験（京都府交響プロジェクト交付金事業）を、開催可能ギリギリである11月23日に藤田カヌーさんのご協力で開催可能となりました。宣言は解除されましたが、必要な対応は行いつつ実行したいと思います。先着順で15組の申し込みを受付いたしますので応募ください。受付の詳細はホームページで行いますのでご覧ください。大変人気のある取り組みなので早急に手続きをお願いします。

●木津川希少種生育調査管理業務 除草作業始まる

季節も秋が深まり植物たちも寒い冬を乗り切る準備を始めました。まさに実りの秋です。苦勞して竹蛇籠の製作も完成させていただきました。大変な作業は一段落つきましたが、息つく間もなく木津川での絶滅危惧植物の保全管理のための除草作業を行わねばなりません。木津川出張所管内で16000m²40か所になっています。ハンマーモアを使つての急斜面の草の刈り取りなので自動走行をしてくれるのですが機械のスピードについて歩かなければなりませんので、かなり足腰に負担がかかります。特に激しくクズが繁茂しているところでは度々ハンマーモアにツルが絡みつき、取り除くのに時間がかかります。またビニールのヒモや網状のものが絡みつくと大変厄介です。心ない投げ捨てなどは作業者泣かせです。

●12月4日 琵琶湖淀川連携交流会リレー見学会木津川に来所 20名程度

これまで近畿各地の施設や川を訪ねてこられ、見分を深めてこられた皆さんが木津川の現状の見学に来ていただけることになりました。又里山の会の取組みもご覧になっていただける場としても大変有意義な機会でもあります。案内予定と計画しているのは、①河床低下確認場所として近鉄京都線の木津川鉄橋の橋脚補強 ②神矢樋門のイヌハギ、フナバラソウ、レンリソウ等の植物保全管理地 ③魚とり会場の山城大橋の渡し草内の浜付近 ④玉水橋付近の中聖牛設置地及びイタセンパラの溜まり、⑤何と云って三角縁神獣鏡（アスピア）と木津川流域センターと竹蛇籠、⑥出来れば山城大水害の井手町における記録映画をと考えています。

●同志社大学からボランティアの申し入れがあり 11月下旬から 10名単位の作業を希望

先日大変うれしい申し入れが届きました。原文のまま紹介させていただきます

やましり山の家 ご担当者さま

同志社大学ボランティア支援室の●●です。いつも大変お世話になっております。

さて、本日夕方にお電話させていただいた件についてですが、大学体育会のクラブのメンバーが、社会貢献活動としてクラブとしてボランティア活動に取り組みたいと相談がありました。なるべくクラブのメンバーが同じ日に参加できる（比較的多い人数でともに参加できる）ボランティアを探しているということで貴団体の竹蛇籠の活動を紹介していたのですが、連絡する前に活動が終わってしまったようです。お電話で伺ったなかでは、他にも大学生の若い力が必要な活動があるのでメールを送ってほしいとのことでしたので、お送りさせていただきました。希望としては、11月22日以降11月中あたりの平日に10人程度で活動できる場をとのことでしたがなかなかそのような形には重ならないと思いますので団体で予定されている活動で、希望されるボランティア活動があるようでしたら活動内容と活動日を教えていただければと思います。体育会のクラブですので、比較的体力のある男の子が多いです。よろしくお願いいたします

返事の内容 里山農園（丸山の草刈り） 11月 随時。 木津川（刈草集めと焼却処理） 12月上旬。炭焼き（原木切り出し、運び出し） 12以降 随時。 七草粥 七草摘み（竹のワンづくりと焼き印） 12月下旬 随時。 昆虫観察と注連縄づくり 12月26日。 尾根筋ハイキング清掃整備 12月28日。 中聖牛組立て 2月上旬 随時。 中聖牛設置 2月26・27日。 木津川清掃 2月20日。が現在の予定です。都合が着いたらどんどんお越しください。お待ちしております。

●竹蛇籠製作講習会に 外国の人が参加

中国・ベトナム・インドから 今年37人の応援支援が実現

今年は、里山の会員以外の方々が沢山参加していただきました。特にこれまでにあまりなかった外国の方がご参加いただきました。インド・中国・ベトナムの若者が参加いただきました。この取り組みはいよいよ広く関心を持っていただいているようです。

●無煙炭化機使用で竹炭作り試行日 11月16日（火）13:00～。予備11月20日（土）13:00～10月に山下茂さんから紹介があり、ぜひ里山の会で竹炭の生産に取組にとのことでした。本日その取り組みを具体化いたしました。来る11月16日（火）の13:00～里山農園で試行を実行することに決まりました。また20日（土）にもできれば2回目実行します。うまく竹炭が生産できれば、面白い取り組みになると思います。この取り組みの責任者に、理事長の大村さんから森島保さんをお願いする事になりました。

●年末行事予定

12月26日 9:30～昆虫観察会 13:00～注連縄づくりを実施 28日9:00～尾根筋ハイキングコース年末清掃 早くも11月中旬になりましたので、少し早いようですが年末の取組みの予定をお知らせします。コロナの関係が心配ですが、とりあえずこのような予定です。大きく変わった点では年末に行っていた餅つきについては、食べ物のことありますのでコロナの感染防止の立場から昨年通り見送りとさせていただきます。悪しからずご了解ください。

●国土交通省淀川河川事務所・木津川下流河川保全利用委員会

12月1日13時30分～15:30 京田辺市商工会館（キララホール京田辺駅付近）で開かれますのでご参加ください。淀川では多くのところが公園化され、市民が意見を発現する機会が設けられていますが、木津川は公園化されていませんので、市民が川について疑問や提案するチャンスは全くありません。この場が唯一年間1回のチャンスですので、大いにご参加くださって木津川をよい川・身近な川にするご発言をおねがいします。